



飯南町長
塚原 隆昭

誰もが

この町に住むことを

幸せに感じられるように

令和4年度は、まちづくりの指針である

「総合振興計画」「総合戦略」の5カ年期間の中間年にあたります。最終年度の令和6年度に向けて目標達成ができるように、誰もがこの町に住むことを幸せに感じられるように、公約に掲げる5つの重点政策を意識しながら、「笑顔あふれるまち飯南町」の実現に向けて全力で取り組みます。

公約に掲げる5つの重点政策

- ① 子どもたちの声が聞こえるまちづくり(少子化対策)
- ② 安心・安全なまちづくり
- ③ 産業が元気なまちづくり
- ④ 定住を進めるまちづくり
- ⑤ 歴史・文化を感じるまちづくり



▶ 詳細はこちらをご覧ください

令和4年第2回飯南町議会定例会
町長所信表明・提案理由説明要旨

総合振興計画に掲げる6つの主要施策

- 自治・協働
ホームページのリニューアル(情報発信の強化)
3月24日にリニューアルした町公式ホームページに加え、インスタグラムやフェイスブックなどのSNSを活用しながら、町内外の人に必要情報を届けると共に、飯南町にしかない魅力を発信していきます。
特定地域づくり事業協同組合と連携した人材確保
町内事業所の人材不足や本町の人口減少の解消の一助となる「特定地域づくり事業協同組合」と連携し、人材の確保に努めます。(本年度の派遣労働職員確保目標…6人)
- 財政の健全化
財政運営の3つのポイントを意識しながら、攻めと守りのバランスの取れた予算編成を行い、健全な財政運営に向けて取り組みます。
【財政運営の3つのポイント】
①行政の効率化…効率的でスリムな組織体制、公共施設の管理運営費の適正化
②事務事業の見直し…公共投資の計画的な執行、町債の発行抑制と繰上償還の実施
③財源の確保…税収、ふるさと納

税、基金運用、財産処分など財源の確保

●教育・文化・子育て

子ども広場(児童遊園)の整備

頓原、志々、赤名、来島の4地区に地域の交流の場となるような「子ども広場」の整備を順次進めていきます。まずは来島交流センターの敷地内に、3歳未満の小さなお子さんを対象とした遊具を整備します。

教育環境の充実

保小中高一貫教育やキャリアパスポートの活用により、子どもたちの「主体性」「課題発見力」「計画力」「創造力」「巻き込む力」「実行力」「発信力」を町ぐるみで育みます。ICT教育の推進や、相談体制の整備、赤来中学校への通級始動教室の新設、町内小学校のスクールスポーツターの増員などにも取り組み、教育環境の充実に取り組めます。

教育環境基本方針の検討

「飯南町教育環境基本方針検討委員会」を立ち上げ、教育の現状と課題の分析を行い、今後の少子化や人口減少に対応できる「本町にふさわしい教育環境」を検討します。

国民スポーツ大会の推進

2030年「国民スポーツ大会(島根県開催)」のソフトボール競技の会場として、本町(出雲市、雲南市も含む)が選定されたのを機に、ソフトボール協会加盟チームの設立に必要な経費や「公認審判員の資格取得を支援する制度」を新設するなど、町民の皆さんがソフトボール競技に接する機会を増やしていきます。

子ども家庭総合支援拠点の設置

保健福祉センター(全世代型の総合相談窓口)内に、子どもとその家庭、妊産婦を対象として、専門的な相談や調査訪問等による継続的な支援を行う「飯南町子ども家庭総合支援拠点」を設置します。

●産業

オンラインショップの開設

県外在住の本町出身者から要望の多い「町内事業者の商品を取り扱うオンラインショップサイト」の開設を検討しています。本町に來なくても町の特産品が買える仕組みを作り、新型コロナウィルス感染症の影響で売りが減少している町内事業者を支援します。

水田農業の振興

本町の特産品である「米」の持続的な生産に向けて、「スマート農業技術の導入などによる省力化」「生産の根幹を担う育苗センターの機能強化と確実な運営」「生産の担い手確保のための集落営農の組織化・法人化の推進」「効率的な営農を目指した農地集積の推進」などに取り組みます。生産性向上やコスト低減を図るための基盤整備や、都市部に向けたPR活動にも取り組みます。

園芸の振興

本町の推奨作物(8品目)のトマト、パプリカ、メロン、ぶどう、白ネギ、サツマイモ、ショウガ、とうがらしを中心に、生産規模拡大による産地化、安定的な販路確保による生産所得の向上を目指します。生産環境の整備や効率的な出荷体制の支援、新規就農者の確保、リースハウスの整備などに取り組みます。

畜産の振興

町産和牛の品質向上、生産者の安定的な所得確保を目的とした「アニミック評価」の結果を活用した和牛改良を進めると共に、特色ある優良牛を地域内に留めることで、繁殖雌牛のレベルアップ、地域産和牛との差別化を図ります。

林業の振興

「植えて育てる」ための伐採や造林などの活動支援に加え、「伐つて使う」ための取り組みを町有林から進めていきます。具体的には、森林作業道の整備、修繕事業の創設や、町産材を使う町内の木造住宅の建築に対し、木材調達費を助成し、町産材の利用拡大が図られるよう取り組みます。
「飯南バイオマスセンター」の再稼働に当たり、大きな課題であった「原木の貯留場不足を解消するための貯木ヤード」をセンター隣接地に整備します。

●保健・医療・介護・福祉

高齢者福祉施設の在り方の検討

町内の高齢者福祉施設が抱えている課題や、これからの介護ニーズを関係者と共有しながら、今後の望ましい施設やサービスの在り方をまとめていきます。

地域医療の維持・充実

飯南病院と診療所は、島根県や島根大学、非常勤の先生方の協力により、現在の医療体制を維持します。「総合診療専門医」

●生活環境

定住の促進

Uターン者町内在住者の住宅建築費や造成費の一部を支援する「新築住宅建築支援事業(町内の住宅に限る)」を創設し、定住促進に取り組みます。増改築への支援や空き家購入への助成、下水道接続への支援拡大などに取り組み、定住人口の拡大を図ります。

消防団員の確保

団員の減少が続いていますが、地域住民の生命・身体・財産を守るため、団員の処遇の改善などに取り組み、団員の確保に努めます。消防団員OBなどが有事の際に出動する「機能別団員制度」を新たに創設し、活動維持に繋がっていきます。

●自然環境

林業振興とCO₂削減

町有林整備を活用したJクレジット(CO₂等の排出削減量・吸収量「クレジット」として国が認証する制度)の販売を企業向けに開始します。